

## NPO 京都コミュニティ放送 第 110 回 番組審議会 議事録

開催日時：2017年3月28日（火）10：00～11：30

会場：京都市中京区三条烏丸 烏丸ビル 2F Flag 三条

委員総数：7人 出席：6人 欠席：1人

出席委員：山本時子 中村正 松浦さと子 岡本卓也 福井秀彦 ジェフ・バーグランド

欠席委員：竹下清

局側委員：町田寿二 松岡千鶴 (順不同敬称略)

ゲスト 「鹿島美代子のブライダルインフォメーション」  
(毎月第1、第3月曜 午前10時～10時6分 放送)  
番組オーナー 鹿島美代子さん

### ■審議番組

「鹿島美代子のブライダルインフォメーション」

(毎月第1、第3月曜 午前10時～10時6分 放送)

鹿島さんはプロの司会者。披露宴の司会は3000組に迫るほど。第二の人生をスタートされる場に立ち会った経験から、そこで感じたいいお話、参考になるお話をお届けする番組。

### ■番組審議

冒頭、番組オーナー鹿島美代子さんから番組趣旨の説明があった。

ラジオが元々好きだった。滋賀県で生まれ育ち今も住んでいる。地元中心に婚礼の司会を2930組してきたが、その経験をラジオで語りたい。

2015年4月6日、2016年12月19日の番組を聞いて審議に入った。

- ・番組で何を伝えたいのか？
- ・この頃の披露宴、この仕事の嬉しさ、楽しさを伝えたい。(鹿島)
- ・番組タイトルと内容のイメージが異なる。
- ・番組では母親としての鹿島さんの素敵さが出ている。
- ・控え目だけれど能動的で分かりやすい。
- ・婚姻の形態の変容が良くわかる。
- ・これまでに、81歳の男性と73歳の初婚の女性が結婚したという例もあった。(鹿島)
- ・音楽にすぐ耳が行く。話の本題に入ったらピアノのストリングス位にした方が、話の邪魔にならない。1ヶ所関西弁になった位で他は完璧。さすがプロ。6分ではこれ位の内容が精一杯。番組が若い人の婚活につながれば良いと思う。
- ・敢えて言うならメリハリに欠ける。知り合いの詩人が3分番組を放送していたが、短い時間の中でメリハリがあった。番組導入の「おはよう おかえりやす」という言葉は今も耳に残っている。お決まりの文句で番組が始まり、番組が終わるのも悪くない。
- ・さり気ない丁寧語が耳に心地よい。
- ・失敗談もあってよいのではないか。
- ・若い人は結婚に対してどの様なイメージを持っているのか。

- ・日本は結婚と言えば家と家。欧米は個と個。しかし日本でも個の要望に沿うよう式が変化している。
- ・自分は去年10月に結婚したが、司会者の力は大きいと感じた。  
この番組では、失敗例や対処法をコーナーで取り上げるとメリハリが出来ると思う。
- ・司会のノウハウや裏事情なども教えてほしい。そうすると司会を頼まれた場合役立つ。  
音楽はオープニングだけにして、本題部分ではない方が良いと思う。

以上で審議を終了した。

この審議会の議事録は2017年4月18日から事務所で閲覧できるようにした。  
この審議会の議事録は2017年4月18日からホームページで公開した。